



FRANKLIN
TEMPLETON

ブランディワイン・グローバル 株式ファンド（SMA専用）

運用報告書（全体版）

第1期 決算日 2022年9月15日

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「ブランディワイン・グローバル株式ファンド（SMA専用）」は、2022年9月15日に第1期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク
傘下の資産運用会社です。

<https://www.franklintempleton.co.jp>

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2021年10月15日～2031年9月12日	
運用方針	主に「ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券に投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド	日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算時（毎年9月15日、休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

当報告書に関するお問合わせ先：
フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率				
(設定日)	円	円	%		%	%	%	%	百万円
2021年10月15日	10,000	—	—	10,000	—	—	—	—	1
1期(2022年9月15日)	10,732	0	7.3	10,714	7.1	96.7	—	—	348

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) ベンチマークはMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）。

(注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を含む世界の主要先進国・新興国の株式で構成されています。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、ドルベース）をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスに対する著作権およびその他知的財産権は、全てMSCI Inc. に帰属します。MSCIでは、かかるデータに基づく投資による損失に一切責任を負いません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	託券率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率				
(設定日)	円	%		%	%	%	%	%
2021年10月15日	10,000	—	10,000	—	—	—	—	—
10月末	10,143	1.4	10,262	2.6	86.8	—	8.0	—
11月末	9,773	△2.3	10,161	1.6	86.5	—	8.0	—
12月末	10,290	2.9	10,536	5.4	94.2	—	2.5	—
2022年1月末	10,121	1.2	9,864	△1.4	96.1	—	1.9	—
2月末	9,924	△0.8	9,792	△2.1	94.8	—	1.5	—
3月末	10,634	6.3	10,731	7.3	95.6	—	1.3	—
4月末	10,380	3.8	10,258	2.6	96.5	—	1.3	—
5月末	10,669	6.7	10,280	2.8	95.4	—	—	—
6月末	10,398	4.0	10,085	0.9	97.5	—	—	—
7月末	10,414	4.1	10,388	3.9	96.7	—	—	—
8月末	10,455	4.6	10,485	4.8	96.7	—	—	—
(期末)								
2022年9月15日	10,732	7.3	10,714	7.1	96.7	—	—	—

(注) 騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) ベンチマークはMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2021年10月15日～2022年9月15日)



設定日：10,000円

期 末：10,732円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 7.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ベンチマークは、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(税引き後配当込み、円換算ベース)です。

○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)は、プラスとなりました。

株式要因はマイナスとなりましたが、為替要因はプラスとなりました。

当期の米国株式相場は、下落しました。

期の前半は、新型コロナウイルスの新たな変異株（オミクロン株）に対する警戒感などから株価が下落する場面も見られましたが、米国企業による好調な決算発表などを背景に上昇しました。しかしその後、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融政策の正常化を前倒しで進めるとの見方が強まったことなどから株価は弱含みました。

期の半ばは、ウクライナ情勢の緊迫化を受けて、株価は下落しました。情勢が好転する期待感から株価が反発する局面も見られましたが、FRBの金融引き締めが景気後退を招くとの警戒感から、売り圧力が強まりました。

期の後半は、FRBの利上げペース加速に対する過度の警戒感が和らぎ、利上げペースの鈍化が意識されたことから、株価は上昇しました。しかし、利上げ観測が根強い中、金融引き締めの長期化による米国景気の悪化が次第に懸念されたことから、株価は再び下落しました。

米国S&P500指数の推移



当期のドイツ株式相場は、下落しました。

期の前半は、コロナ禍からの景気回復期待などを背景に株価は上昇しましたが、新型コロナウイルスのオミクロン株が確認され、景気回復が遅れるとの懸念が広がると、株価は上値の重い展開となりました。その後、オミクロン株への過度な警戒感は和らいだものの、米国の金融政策の正常化が前倒しされるとの観測から米国市場が軟調となったことで株価は下落しました。

期の半ばは、欧州中央銀行（ECB）による2022年の年内の利上げ開始観測が浮上したことや、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて欧州経済への影響が懸念されたことから、株価は大きく下落しました。その後もロシア・ウクライナ紛争の長期化や、中国での新型コロナウイルスの感染拡大が嫌気され、株価は一段と下落しました。

期の後半は、ECBによる金融政策の正常化が欧州景気の減速につながるなどの懸念が次第に意識されたことなどから株価は低迷しました。世界的なインフレ圧力の強さが意識されたことや、天然ガス価格の高騰を背景にユーロ圏景気の悪化が改めて懸念されたことなども株価の下落につながりました。

ドイツ株価指数（DAX）の推移



当期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

期の前半は、FRBによるテーパリング（量的緩和の縮小）の2021年の年内開始と利上げ開始時期の前倒し観測などを受けて米国国債利回りが上昇し、日米金利差が拡大したことから、米ドル買い・円売りが強まりました。新型コロナウイルスのオミクロン株が確認され、米国国債利回りが低下すると、米ドルは対円で軟調となりましたが、オミクロン株に対する過度の警戒感が後退すると底堅い動きとなりました。

期の半ばは、ウクライナ情勢の緊迫化から米ドル売り・円買いが強まる場面もみられましたが、FRBによる今後の利上げ加速の可能性が意識される一方、日本では日銀が大規模な金融緩和策を維持したことなどから、米ドル高・円安が進みました。

期の後半は、引き続きFRBが利上げを進める中で、改めて日米の金融政策の違いが意識されたことなどから、米ドル高・円安が続きました。パウエルFRB議長が、講演でインフレ抑制を最優先で進める姿勢を示したことも、米ドル高・円安が加速する要因となりました。

当期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。

期の前半は、原油高などを背景にインフレ圧力の高まりが意識され、ドイツの国債利回りが上昇したことなどから、ユーロ買い・円売りが一時優勢となりました。しかしその後は、新型コロナウイルスのオミクロン株が確認され、リスク回避姿勢が意識されたことなどから、ユーロ売り・円買いが強まりました。FRBによる金融引き締めの前倒し観測が根強い中、ユーロは対米ドルで下落するとともに、円に対しても軟調となりました。

期の半ばは、ウクライナ情勢の緊迫化からユーロ売り・円買いが優勢となる局面もみられましたが、停戦交渉に対する期待や、ECBが金融政策の正常化を加速するとの観測のもと日本と欧州の金利差の拡大が意識されたことなどから、ユーロは対円で堅調となりました。

期の後半は、天然ガス価格の高騰などが欧州景気を冷やすとの懸念からユーロ売りが優勢となる場面もみられましたが、しかし、ECBがFRB同様、インフレ抑制に向けて積極的な金融政策を進める中で、日本との金融政策の違いが意識され、ユーロ高・円安が進行しました。

米ドル／円相場の推移



ユーロ／円相場の推移



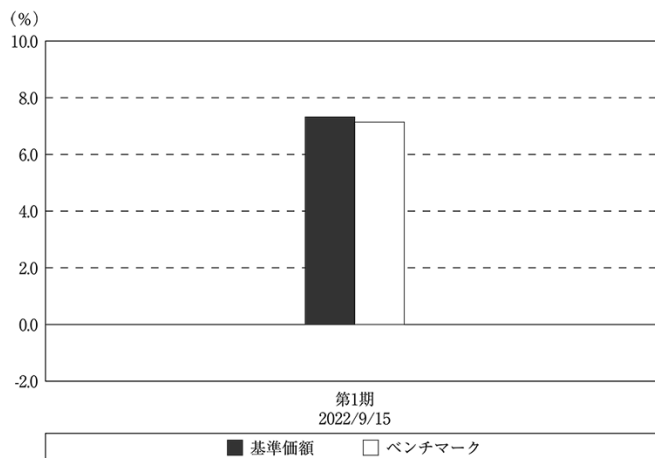
当ファンドは、主に「ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式に投資を行うことにより、信託財産の長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。当ファンドの運用においては、マクロ分析に基づくトップダウンの投資判断と、ボトムアップの個別銘柄分析に基づく銘柄選択を合わせて、本源的価値に比べて割安と判断される銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行いました。MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年10月15日～2022年9月15日)

当ファンドのパフォーマンスはベンチマーク並みとなりました。米国株式が堅調となる局面で米国株式をアンダーウェイトとしたことや、英国株式の銘柄選択等は相対パフォーマンスにマイナス寄与しました。一方、期中の中旬に割高感があると考えた情報技術セクターをアンダーウェイトとしたことや、新興国市場が堅調となる局面で、投資妙味があると考えたインドネシアやメキシコの銘柄は相対パフォーマンスにプラス寄与しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ベンチマークは、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）です。

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式等の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2021年10月15日～ 2022年9月15日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	731

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、主に「ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、信託財産の長期的成長を目指してまいります。当ファンドの運用においては、マクロ分析に基づくトップダウンの投資判断と、ボトムアップの個別銘柄分析に基づく銘柄選択を合わせて、本源的価値に比べて割安と判断される銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行います。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(税引き後配当込み、円換算ベース)をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指してまいります(ただし、この目標の達成を約束するものではありません)。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年10月15日～2022年9月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	78	0.759	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(63)	(0.608)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0.122)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.030)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	13	0.130	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(13)	(0.123)	
(投 資 信 託 証 券)	(1)	(0.007)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	7	0.071	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(7)	(0.071)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	11	0.109	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(6)	(0.060)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(4)	(0.035)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 等 費 用)	(1)	(0.010)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.003)	配当金に伴う税支払い
合 計	109	1.069	
期中の平均基準価額は、10,291円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

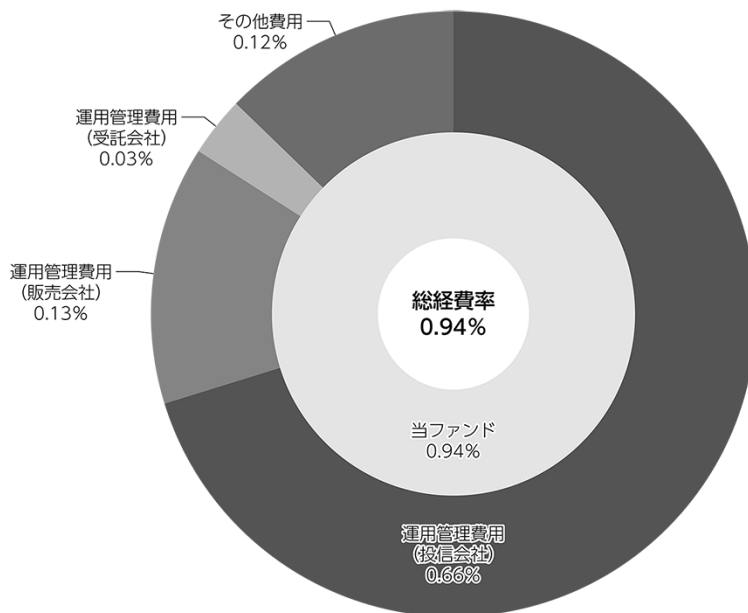
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.94%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年10月15日～2022年9月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド	千口 441,834	千円 462,872	千口 124,393	千円 133,286

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2021年10月15日～2022年9月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	24,511,744千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	13,275,960千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.85

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年10月15日～2022年9月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2021年10月15日～2022年9月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年10月15日～2022年9月15日)

設定時 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	当期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 1	百万円 -	当初設定時における取得とその処分

(注) 単位未満は切捨て。

○組入資産の明細

(2022年9月15日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド		317,440	350,232

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2022年9月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド	350,232	99.2
コール・ローン等、その他	2,671	0.8
投資信託財産総額	352,903	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（14,573,253千円）の投資信託財産総額（16,144,100千円）に対する比率は90.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=143.34円、1カナダドル=108.85円、1メキシコペソ=7.1796円、1ブラジルレアル=27.715円、1ユーロ=142.97円、1イギリスポンド=165.29円、1スイスフラン=148.86円、1スウェーデンクローナ=13.39円、1ノルウェークローネ=14.21円、1ポーランドズロチ=30.3118円、100韓国ウォン=10.29円、1南アフリカランド=8.19円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	352,903,873
ファンデレイブ・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド(信託報酬)	350,232,049
未収入金	2,671,824
(B) 負債	4,058,809
未払解約金	2,671,824
未払信託報酬	1,307,827
その他未払費用	79,158
(C) 純資産総額(A-B)	348,845,064
元本	325,055,312
次期繰越損益金	23,789,752
(D) 受益権総口数	325,055,312口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,732円

<注記事項>

元本の状況

当初設定元本額	1,000,000円
期中追加設定元本額	449,882,330円
期中一部解約元本額	125,827,018円

○損益の状況 (2021年10月15日～2022年9月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	18,225,197
売買益	21,125,930
売買損	△ 2,900,733
(B) 信託報酬等	△ 3,080,197
(C) 当期損益金(A+B)	15,145,000
(D) 追加信託差損益金	8,644,752
(売買損益相当額)	(8,644,752)
(E) 計(C+D)	23,789,752
(F) 収益分配金	0
次期繰越損益金(E+F)	23,789,752
追加信託差損益金	8,644,752
(配当等相当額)	(499,408)
(売買損益相当額)	(8,145,344)
分配準備積立金	15,145,000

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	当 期
(A) 配 当 等 収 益(費用控除後)	5,893,860円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	9,251,140
(C) 収 益 調 整 金	8,644,752
(D) 分 配 準 備 積 立 金	0
分配対象収益額(A+B+C+D)	23,789,752
(1万口当たり収益分配対象額)	(731)
収 益 分 配 金	0
(1万口当たり収益分配金)	(0)

ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド

運用状況のご報告

第1期 決算日 2022年9月15日

(計算期間：2021年9月24日～2022年9月15日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「ブランディワイン・グローバル・オポチュニスティック株式・マザーファンド」の第1期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券に投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	期騰落	中率	期騰落	中率				
(設定日) 2021年9月24日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	% —	% —	百万円 1
1期(2022年9月15日)	11,033	10.3	10,989	9.9	96.3	—	—	16,141

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) ベンチマークはMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）。

(注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を含む世界の主要先進国・新興国の株式で構成されています。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、ドルベース）をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスに対する著作権およびその他の知的財産権は、全てMSCI Inc. に帰属します。MSCIでは、かかるデータに基づく投資による損失に一切責任を負いません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 組入比率
	騰落	率	騰落	率			
(設定日) 2021年9月24日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	% —	% —
9月末	10,000	0.0	9,899	△ 1.0	—	—	—
10月末	10,351	3.5	10,525	5.3	86.8	—	8.0
11月末	9,981	△ 0.2	10,421	4.2	86.5	—	8.0
12月末	10,516	5.2	10,807	8.1	94.1	—	2.5
2022年1月末	10,352	3.5	10,117	1.2	95.9	—	1.9
2月末	10,158	1.6	10,044	0.4	94.5	—	1.5
3月末	10,890	8.9	11,006	10.1	95.2	—	1.3
4月末	10,637	6.4	10,522	5.2	96.5	—	1.3
5月末	10,941	9.4	10,543	5.4	95.3	—	—
6月末	10,671	6.7	10,344	3.4	97.4	—	—
7月末	10,695	7.0	10,654	6.5	96.5	—	—
8月末	10,746	7.5	10,754	7.5	96.3	—	—
(期末) 2022年9月15日	11,033	10.3	10,989	9.9	96.3	—	—

(注) 騰落率は設定日比です。

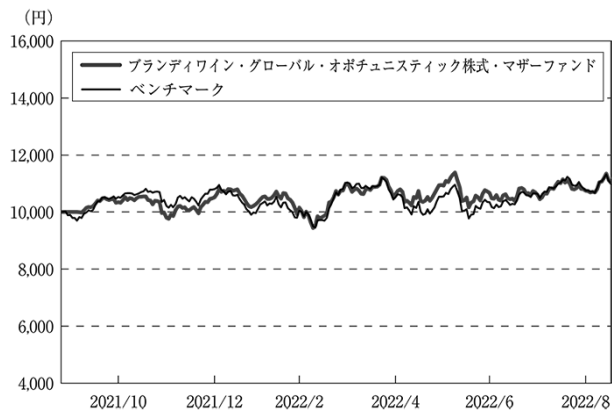
(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) ベンチマークはMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2021年9月24日～2022年9月15日)



○基準価額の変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）は、プラスとなりました。
株式要因はマイナスとなりましたが、為替要因はプラスとなりました。

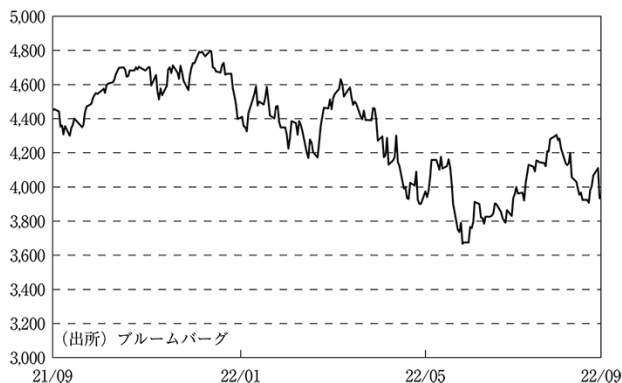
当期の米国株式相場は、下落しました。

期の前半は、新型コロナウイルスの新たな変異株（オミクロン株）に対する警戒感などから株価が下落する場面も見られましたが、米国企業による好調な決算発表などを背景に上昇しました。しかしその後、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融政策の正常化を前倒しで進めるとの見方が強まったことなどから株価は弱含みました。

期の半ばは、ウクライナ情勢の緊迫化を受けて、株価は下落しました。情勢が好転する期待感から株価が反発する局面も見られましたが、FRBの金融引き締めが景気後退を招くとの警戒感から、売り圧力が強まりました。

期の後半は、FRBの利上げペース加速に対する過度の警戒感が和らぎ、利上げペースの鈍化が意識されたことから、株価は上昇しました。しかし、利上げ観測が根強い中、金融引き締めの長期化による米国景気の悪化が次第に懸念されたことから、株価は再び下落しました。

米国S&P500指数の推移



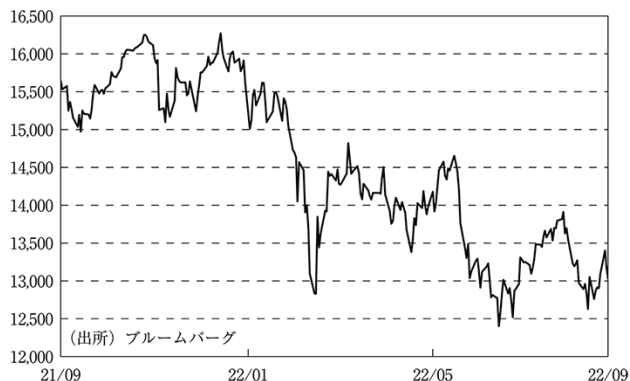
当期のドイツ株式相場は、下落しました。

期の前半は、コロナ禍からの景気回復期待などを背景に株価は上昇しましたが、新型コロナウイルスのオミクロン株が確認され、景気回復が遅れるとの懸念が広がると、株価は上値の重い展開となりました。その後、オミクロン株への過度な警戒感は和らいだものの、米国の金融政策の正常化が前倒しされるとの観測から米国市場が軟調となったことで株価は下落しました。

期の半ばは、欧州中央銀行（ECB）による2022年の年内の利上げ開始観測が浮上したことや、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて欧州経済への影響が懸念されたことから、株価は大きく下落しました。その後もロシア・ウクライナ紛争の長期化や、中国での新型コロナウイルスの感染拡大が嫌気され、株価は一段と下落しました。

期の後半は、ECBによる金融政策の正常化が欧州景気の減速につながるなどの懸念が次第に意識されたことなどから株価は低迷しました。世界的なインフレ圧力の強さが意識されたことや、天然ガス価格の高騰を背景にユーロ圏景気の悪化が改めて懸念されたことなども株価の下落につながりました。

ドイツ株価指数（DAX）の推移



当期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

期の前半は、FRBによるテーパリング（量的緩和の縮小）の2021年の年内開始と利上げ開始時期の前倒し観測などを受けて米国国債利回りが上昇し、日米金利差が拡大したことから、米ドル買い・円売りが強まりました。新型コロナウイルスのオミクロン株が確認され、米国国債利回りが低下すると、米ドルは対円で軟調となりましたが、オミクロン株に対する過度の警戒感が後退すると底堅い動きとなりました。

期の半ばは、ウクライナ情勢の緊迫化から米ドル売り・円買いが強まる場面もみられましたが、FRBによる今後の利上げ加速の可能性が意識される一方、日本では日銀が大規模な金融緩和策を維持したことなどから、米ドル高・円安が進みました。

期の後半は、引き続きFRBが利上げを進める中で、改めて日米の金融政策の違いが意識されたことなどから、米ドル高・円安が続きました。パウエルFRB議長が、講演でインフレ抑制を最優先で進める姿勢を示したことも、米ドル高・円安が加速する要因となりました。

当期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。

期の前半は、原油高などを背景にインフレ圧力の高まりが意識され、ドイツの国債利回りが上昇したことなどから、ユーロ買い・円売りが一時優勢となりました。しかしその後は、新型コロナウイルスのオミクロン株が確認され、リスク回避姿勢が意識されたことなどから、ユーロ売り・円買いが強まりました。FRBによる金融引き締めの前倒し観測が根強い中、ユーロは対米ドルで下落するとともに、円に対しても軟調となりました。

期の半ばは、ウクライナ情勢の緊迫化からユーロ売り・円買いが優勢となる局面もみられましたが、停戦交渉に対する期待や、ECBが金融政策の正常化を加速するとの観測のもと日本と欧州の金利差の拡大が意識されたことなどから、ユーロは対円で堅調となりました。

期の後半は、天然ガス価格の高騰などが欧州景気を冷やすとの懸念からユーロ売りが優勢となる場面もみられましたが、しかし、ECBがFRB同様、インフレ抑制に向けて積極的な金融政策を進める中で、日本との金融政策の違いが意識され、ユーロ高・円安が進行しました。

米ドル／円相場の推移



ユーロ／円相場の推移



当ファンドのポートフォリオ

主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式に投資を行うことにより、信託財産の長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。当ファンドの運用においては、マクロ分析に基づくトップダウンの投資判断と、ボトムアップの個別銘柄分析に基づく銘柄選択を合わせて、本源的価値に比べて割安と判断される銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行いました。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドのパフォーマンスはベンチマーク並みとなりました。米国株式が堅調となる局面で米国株式をアンダーウェイトとしたことや、英国株式の銘柄選択等は相対パフォーマンスにマイナス寄与しました。一方、期の中旬に割高感があると考えた情報技術セクターをアンダーウェイトとしたことや、新興国市場が堅調となる局面で、投資妙味があると考えたインドネシアやメキシコの銘柄は相対パフォーマンスにプラス寄与しました。

○今後の運用方針

主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、信託財産の長期的成長を目指してまいります。当ファンドの運用においては、マクロ分析に基づくトップダウンの投資判断と、ボトムアップの個別銘柄分析に基づく銘柄選択を合わせて、本源的価値に比べて割安と判断される銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行います。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引き後配当込み、円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指してまいります（ただし、この目標の達成を約束するものではありません）。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年9月24日～2022年9月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 20 (19) (1)	% 0.193 (0.181) (0.012)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	15 (15) (0)	0.143 (0.143) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	7 (7) (0)	0.070 (0.066) (0.004)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 配当金に伴う税支払い
合 計	42	0.406	
期中の平均基準価額は、10,494円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年9月24日～2022年9月15日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 580	千円 1,675,930	千株 110	千円 265,314
	アメリカ	百株 18,756 (7)	千米ドル 107,182 (-)	百株 10,815	千米ドル 44,481
外 国	カナダ	4,223	千カナダドル 11,986	1,856 (-)	千カナダドル 6,557 (13)
	メキシコ	8,427	千メキシコペソ 89,647	5,992	千メキシコペソ 69,202
	ブラジル	11,274	千ブラジルレアル 22,356	5,349	千ブラジルレアル 9,720
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	1,703	2,813	260 (-)	450 (87)
	フランス	3,032	14,781	322	1,704
	スペイン	11,595	3,650	1,518	473
	イギリス	28,928 (683)	千イギリスポンド 14,234 (-)	18,440	千イギリスポンド 7,513
	スイス	232	千スイスフラン 2,679	42	千スイスフラン 498
	スウェーデン	5,221	千スウェーデンクローナ 76,936	1,910	千スウェーデンクローナ 16,141
	ノルウェー	2,501	千ノルウェークローネ 30,059	1,015	千ノルウェークローネ 18,241
	ポーランド	225	千ポーランドズロチ 7,999	75	千ポーランドズロチ 2,518
	インドネシア	44,649	千インドネシアルピア 26,290,292	44,649	千インドネシアルピア 28,472,407
	韓国	937	千韓国ウォン 5,169,714	149	千韓国ウォン 698,096
	南アフリカ	2,217	千南アフリカランド 16,461	245	千南アフリカランド 1,731

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外	アメリカ	百口	千米ドル	百口	千米ドル
	ISHARES MSCI SOUTH KOREA	501	3,949	501	3,963
	ISHARES MSCI INDONESIA	1,603	3,772	1,603	3,735
	ISHARES MSCI RUSSIA	150	758	150	640
	RYMAN HOSPITALITY PROPERTIES	166	1,414	166	1,485
	小計	2,420	9,895	2,420	9,825
国	メキシコ		千メキシコペソ		千メキシコペソ
	FIBRA UNO ADMINISTRACION SA	19,819 (-)	43,104 (664)	19,819 (-)	41,286 (811)
	小計	19,819 (-)	43,104 (664)	19,819 (-)	41,286 (811)

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2021年9月24日～2022年9月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	33,852,554千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	12,169,630千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.78

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年9月24日～2022年9月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年9月15日現在)

国内株式

銘	柄	当 期 末	
		株 数	評 価 額
		千株	千円
食料品 (8.1%)			
森永製菓		30.1	115,433
医薬品 (14.8%)			
小野薬品工業		63.5	211,455
金属製品 (11.8%)			
三和ホールディングス		124.6	168,833
電気機器 (28.3%)			
村田製作所		30.6	228,276
小糸製作所		37.4	174,471
輸送用機器 (19.1%)			
ヤマハ発動機		93.8	272,020
倉庫・運輸関連業 (11.0%)			
上組		57.5	156,860
小売業 (6.9%)			
イズミ		32.5	98,475
合 計		株 数 ・ 金 額 470	1,425,823
		銘 柄 数 < 比 率 >	< 8.8% >

(注) 銘柄欄の () 内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の < > 内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

外国株式

銘柄	当 期 末			業 種 等
	株 数	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千米ドル	千円	
ALASKA AIR GROUP INC	255	1,171	167,991	資本財・サービス
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	343	3,056	438,149	一般消費財・サービス
BAIDU INC - SPON ADR	187	2,417	346,454	コミュニケーション・サービス
BANCO DE CHILE-ADR	677	1,288	184,704	金融
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	49	1,367	195,991	金融
BOOKING HOLDINGS INC	6	1,198	171,740	一般消費財・サービス
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	231	1,627	233,337	ヘルスケア
CVS HEALTH CORP	261	2,646	379,305	ヘルスケア
CITIGROUP INC	274	1,328	190,417	金融
CONOCOPHILLIPS	78	924	132,533	エネルギー
CROWN HOLDINGS INC	125	1,215	174,193	素材
DR HORTON INC	171	1,182	169,502	一般消費財・サービス
WALT DISNEY CO/THE	156	1,758	252,109	コミュニケーション・サービス
META PLATFORMS INC-A	117	1,772	254,027	コミュニケーション・サービス
FEDEX CORP	94	1,930	276,729	資本財・サービス
GENERAL MOTORS CO	304	1,237	177,410	一般消費財・サービス
GLOBAL PAYMENTS INC	224	2,972	426,140	情報技術
JPMORGAN CHASE & CO	79	924	132,507	金融
NETEASE INC-ADR	193	1,652	236,849	コミュニケーション・サービス
NEWMONT CORP	275	1,180	169,223	素材
PFIZER INC	118	544	78,058	ヘルスケア
PULTEGROUP INC	197	766	109,873	一般消費財・サービス
REINSURANCE GROUP OF AMERICA	121	1,586	227,378	金融
SCHWAB (CHARLES) CORP	282	2,055	294,621	金融
T-MOBILE US INC	156	2,218	318,000	コミュニケーション・サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	195	1,557	223,276	情報技術
TERADYNE INC	165	1,387	198,824	情報技術
VIATRIS INC	885	834	119,625	ヘルスケア
WAYFAIR INC- CLASS A	217	1,086	155,741	一般消費財・サービス
WELLS FARGO & CO	567	2,456	352,056	金融
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	82	954	136,826	ヘルスケア
HORIZON THERAPEUTICS PLC	186	1,187	170,165	ヘルスケア
JAZZ PHARMACEUTICALS PLC	79	1,205	172,832	ヘルスケア
MEDTRONIC PLC	200	1,820	260,906	ヘルスケア
WILLIS TOWERS WATSON PLC	80	1,670	239,418	金融
AERCAP HOLDINGS NV	308	1,449	207,719	資本財・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額	7,949	55,634	7,974,651
	銘柄 数 < 比 率 >	36	-	< 49.4% >
(カナダ)		千カナダドル		
BARRICK GOLD CORP	563	1,156	125,841	素材
CANADIAN NATURAL RESOURCES	138	1,026	111,726	エネルギー
MTY FOOD GROUP INC	355	2,170	236,294	一般消費財・サービス
ALAMOS GOLD INC-CLASS A	1,310	1,277	139,060	素材
小 計	株 数 ・ 金 額	2,367	5,630	612,922
	銘柄 数 < 比 率 >	4	-	< 3.8% >
(メキシコ)		千メキシコペソ		
QUALITAS CONTROLADORA SAB CV	2,435	20,797	149,316	金融
小 計	株 数 ・ 金 額	2,435	20,797	149,316
	銘柄 数 < 比 率 >	1	-	< 0.9% >
(ブラジル)		千ブラジルリアル		
ITAU UNIBANCO HOLDING S-PREF	1,982	5,291	146,666	金融

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等
		評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(ブラジル) SENDAS DISTRIBUIDORA SA	百株 3,943	千ブラジルレアル 7,247	千円 200,857	生活必需品
小 計	株 数 ・ 金 額 5,925	12,539	347,523	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	< 2.2% >	
(ユーロ…ドイツ) DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	1,442	千ユーロ 2,751	393,315	コミュニケーション・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 1,442	2,751	393,315	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	< 2.4% >	
(ユーロ…フランス) SEB SA KERING SODEXO SA CREDIT AGRICOLE SA BNP PARIBAS COMPAGNIE DE SAINT GOBAIN	95 36 221 1,059 706 590	676 1,902 1,822 1,025 3,550 2,410	96,768 272,000 260,554 146,607 507,552 344,672	一般消費財・サービス 一般消費財・サービス 一般消費財・サービス 金融 金融 資本財・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 2,710	11,388	1,628,154	
	銘 柄 数 < 比 率 >	6	< 10.1% >	
(ユーロ…スペイン) BANCO SANTANDER SA	10,076	2,605	372,477	金融
小 計	株 数 ・ 金 額 10,076	2,605	372,477	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	< 2.3% >	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額 14,229	16,744	2,393,947	
	銘 柄 数 < 比 率 >	8	< 14.8% >	
(イギリス) BARRATT DEVELOPMENTS PLC BELLWAY PLC TESCO PLC HALEON PLC GSK PLC	1,797 545 4,117 3,646 1,065	千イギリスポンド 730 1,055 977 985 1,419	120,720 174,413 161,515 162,932 234,655	一般消費財・サービス 一般消費財・サービス 生活必需品 生活必需品 ヘルスケア
小 計	株 数 ・ 金 額 11,172	5,168	854,236	
	銘 柄 数 < 比 率 >	5	< 5.3% >	
(スイス) NESTLE SA-REG	189	千スイスフラン 2,072	308,490	生活必需品
小 計	株 数 ・ 金 額 189	2,072	308,490	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	< 1.9% >	
(スウェーデン) AUTOLIV INC-SWED DEP RECEIPT HUSQVARNA AB-B SHS	272 3,038	千スウェーデンクローナ 21,746 20,345	291,184 272,421	一般消費財・サービス 資本財・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 3,310	42,091	563,605	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	< 3.5% >	
(ノルウェー) SUBSEA 7 SA	1,485	千ノルウェークローネ 13,555	192,621	エネルギー
小 計	株 数 ・ 金 額 1,485	13,555	192,621	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	< 1.2% >	
(ポーランド) DINO POLSKA SA	149	千ポーランドズロチ 5,153	156,207	生活必需品
小 計	株 数 ・ 金 額 149	5,153	156,207	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	< 1.0% >	
(韓国) LG CORP NICE HOLDINGS CO LTD	484 302	千韓国ウォン 3,911,044 426,863	402,446 43,924	資本財・サービス 金融
小 計	株 数 ・ 金 額 787	4,337,908	446,370	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	< 2.8% >	

銘柄	当 期 末			業 種 等
	株 数	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(南アフリカ) AVI LTD	百株 1,971	千南アフリカランド 14,499	千円 118,751	生活必需品
小 計	株 数 ・ 金 額 1,971	14,499	118,751	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	< 0.7% >	
合 計	株 数 ・ 金 額 51,973	—	14,118,645	
	銘 柄 数 < 比 率 >	64	< 87.5% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年9月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 15,544,469	% 96.3
コール・ローン等、その他	599,631	3.7
投資信託財産総額	16,144,100	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (14,573,253千円) の投資信託財産総額 (16,144,100千円) に対する比率は90.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=143.34円、1カナダドル=108.85円、1メキシコペソ=7.1796円、1ブラジルレアル=27.715円、1ユーロ=142.97円、1イギリスポンド=165.29円、1スイスフラン=148.86円、1スウェーデンクローナ=13.39円、1ノルウェークローネ=14.21円、1ポーランドズロチ=30.3118円、100韓国ウォン=10.29円、1南アフリカランド=8.19円です。

○特定資産の価格等の調査

(2021年9月24日～2022年9月15日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	16,144,100,743
コール・ローン等	585,861,937
株式(評価額)	15,544,469,356
未収配当金	13,769,450
(B) 負債	2,722,106
未払解約金	2,721,823
未払利息	283
(C) 純資産総額(A-B)	16,141,378,637
元本	14,629,769,035
次期繰越損益金	1,511,609,602
(D) 受益権総口数	14,629,769,035口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,033円

<注記事項>

(注) 元本の状況

当初設定元本額	1,000,000円
期中追加設定元本額	17,962,238,652円
期中一部解約元本額	3,333,469,617円

(注) 期末における元本の内訳

ブランディワイン・グローバル株式ファンド (適格機関投資家専用)	14,312,328,584円
ブランディワイン・グローバル株式ファンド (SMA専用)	317,440,451円

○損益の状況 (2021年9月24日～2022年9月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	333,914,530
受取配当金	332,950,190
受取利息	1,197,283
その他収益金	5,495
支払利息	△ 238,438
(B) 有価証券売買損益	964,538,081
売買益	4,099,102,431
売買損	△3,134,564,350
(C) 保管費用等	△ 11,193,119
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,287,259,492
(E) 追加信託差損益金	397,875,346
(F) 解約差損益金	△ 173,525,236
(G) 計(D+E+F)	1,511,609,602
次期繰越損益金(G)	1,511,609,602

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。